

コミュニティ・スクールとは：地域住民が主体的に学校を守り、運営する仕組みです。この仕組みができることで、地域の特色を生かした学校運営や特色ある授業を創出していくことが可能になります。

この仕組みを生かすために、地域独自のアイデアを学校だけでなく、地域住民や子どもたちと一緒に実行するけん引役として、それを担うのがCSディレクターです。具体的には、会議の運営、授業支援、放課後子ども教室の企画・運営などを支援します。

この仕組みができれば、鳥羽市版の地域と行政の協働（地域共生社会）の仕組みとして移行することも可能です。



学校を核とした
地域力強化のための
仕組みづくりの推進

地域連携の基盤として

超少子化・高齢化の進展

共働き世帯、一人親世帯、
独居老人世帯の増加

核家族化

子どもたちを
取り巻く
地域力の衰退

地域のつながり
の希薄化

地域格差・経済格差の拡大

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

- 目的：地域連携の基盤づくり
- 位置づけ：教育委員会の下部組織(合議制)
 - ・学校運営の基本方針の承認 (必須)
 - ・学校運営に関する意見 (任意)
 - ・教職員の任用に関する意見 (任意)

◎委員は、主体的な関りが持てる人を選び、教育委員会が委嘱・任命する。

【キーワード】
学校から発信する人づくり・地域づくり

地域の特色を生かして

人口流出の抑制、
地域コミュニティの活性化

子どもたちの地域への愛着、
地域の担い手の増加

地域資源を生かした子ども
たちの豊かな学びの実現

学校を核とした地域との
つながりの形成

学校を核として、人づくり・地域づくりの好循環を創出

持続可能な
学校づくり

目指すは、学校を拠点に鳥羽市版“地域共生社会の実現”

魅力ある
学校

+

未来を創
る教育

+

地域への
愛着・誇り

+

地域の強
みの発信

+

地域の
つながり

+

住み続け
たいまち

+

まちの
活性化